2026年９月期　決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月11日

上場会社名　　株式会社キャリアデザインセンター　　上場取引所　東
コード番号　　2410　　ＵＲＬ　https://cdc.type.jp/ir/
代表者　　（役職名）代表取締役社長兼会長　　（氏名）多田弘實
問合せ先責任者　（役職名）代表取締役副社長　経営企画担当　（氏名）西山裕　　ＴＥＬ　03-3560-1601

定時株主総会開催予定日　2026年12月18日　　配当支払開始予定日 2026年12月21日
有価証券報告書提出予定日　2026年12月17日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	18,744	0.5	1,586	0.2	1,606	0.2	1,134	3.1
2025年９月期	18,646	5.1	1,582	10.5	1,604	11.6	1,100	11.8

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	215.00	―	22.9	20.3	8.5
2025年９月期	209.67	―	25.7	22.5	8.5

（参考）持分法投資損益　　2026年９月期　　－百万円　　2025年９月期　　－百万円

（注）「潜在株式調整後１株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	8,080	5,299	65.6	1,002.43
2025年９月期	7,733	4,628	59.8	879.66

（参考）自己資本　　2026年９月期　　5,299百万円　　2025年９月期　　4,628百万円

（３）キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	1,413	△352	△525	4,370
2025年９月期	2,031	△338	△470	3,835

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向	純資産配当率
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	0.00	―	100.00	100.00	526	47.7	12.2
2026年９月期	―	0.00	―	160.00	160.00	845	74.4	17.0
2027年９月期（予想）	―	0.00	―	160.00	160.00		86.1	

（注）１．2025年９月期期末配当の内訳　普通配当100円00銭
２．2026年９月期期末配当の内訳　普通配当140円00銭　特別配当20円00銭
３．2027年９月期期末配当の内訳　普通配当160円00銭

３．2027年９月期の業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	9,235	△0.9	455	△35.7	460	△35.9	311	△36.5	58.64
通期	19,150	2.2	1,440	△9.2	1,450	△9.8	986	△13.1	185.92

※　注記事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（２）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	5,497,921株	2025年９月期	5,497,921株
②　期末自己株式数	2026年９月期	211,294株	2025年９月期	236,336株
③　期中平均株式数	2026年９月期	5,278,325株	2025年９月期	5,250,056株

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 4
（４）今後の見通し …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）貸借対照表 …… 5
（２）損益計算書 …… 7
（３）株主資本等変動計算書 …… 8
（４）キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（５）財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（持分法損益等） …… 11
（セグメント情報等の注記） …… 11
（１株当たり情報） …… 12
（重要な後発事象） …… 12

１．経営成績等の概況

（１） 当期の経営成績の概況

当事業年度（2025年10月１日～2026年９月30日）における我が国経済において、日銀短観(2026年９月調査)では、大企業・製造業の景況感は改善傾向を示した一方で、原油価格の高騰や関税の影響、急激な円安の進行等により依然として先行き不透明な状況が続いています。2026年８月の有効求人倍率は1.18倍とほぼ横ばいで推移しており、当社を取り巻く求人環境に大きな変化は見られず、「エンジニア」領域においては依然として採用基準の高止まりなどの傾向が続いております。

このような状況において、当事業年度における当社の業績は、期初想定より求人企業の採用意欲の回復が遅れており、売上高はメディア情報事業、人材紹介事業、新卒メディア事業、新卒紹介事業、ＩＴ派遣事業の有期雇用派遣が業績予想を下回った一方、ＩＴ派遣事業の無期雇用派遣は業績予想を上回って進捗しました。利益面では、引き続き効率的かつ効果的な広告宣伝を実現するなど、全社的にコストを抑制したものの、売上高の減少を補うには至りませんでした。そのため、全社の売上高・利益ともに業績予想を下回りましたが、当事業年度における売上高・利益はいずれも過去最高を更新いたしました。

以上の結果、当事業年度における売上高は、18,744,342千円（前年同期比0.5%増）、利益については、営業利益1,586,576千円（前年同期比0.2%増）、経常利益1,606,979千円（前年同期比0.2%増）、当期純利益1,134,864千円（前年同期比3.1%増）となりました。

＜事業の種類別の業績＞

当社は人材サービス事業の単一セグメントでありセグメント情報の記載を省略しているため、事業の種類別に記載しております。

①メディア情報事業

メディア情報事業は、Ｗｅｂ求人広告・適職フェア等の商品・サービスを展開しております。

当事業年度においては、引き続き販売価格の上昇や女性エンジニアの取り込み、関西エリアの拡販等を進めたものの、一部の販売代理店においては取引件数の伸びが鈍化しました。なお、職種別の売上高は、「エンジニア」領域前年同期比14.6%減、「営業」領域同2.9%増、「その他」領域同3.8%増、「女性」領域同0.8%減となりました。

以上の結果、当事業年度におけるメディア情報事業の売上高は5,672,003千円（前年同期比4.0%減）、事業別経常利益は767,811千円（前年同期比6.1%増）となりました。

②人材紹介事業

人材紹介事業は、ご登録いただいた求職者の方に最適な求人案件をご紹介する登録型人材紹介を運営しております。営業・ＩＴ・販売・サービス等幅広い業種・職種をターゲットとする一般領域と専門職や管理職をターゲットとするミドル領域に分かれて事業運営を行っております。

当事業年度においては、採用基準の厳格化が継続する中、一般領域では、求職者と求人案件のマッチング精度向上に取り組んだものの、成約件数は減少いたしました。

ミドル領域では、新規の案件開拓を進めるとともに、高度なスキルや経験を持つ登録者の獲得に注力したものの、成約件数は減少いたしました。

以上の結果、当事業年度における人材紹介事業の売上高は2,986,007千円（前年同期比4.9%減）、事業別経常利益は385,979千円（前年同期比5.3%増）となりました。

③新卒メディア事業

新卒メディア事業は、新卒者を対象とする就職イベント・情報誌等の商品・サービスを展開しております。

当事業年度においては、米国の関税動向など外部環境の変化を背景に、採用活動を慎重に進める企業が一部見られ、大型イベントや個別セミナーなどを中心に、取引社数は減少いたしました。

以上の結果、当事業年度における新卒メディア事業の売上高は662,952千円（前年同期比15.8%減）、事業別経常利益は181,749千円（前年同期比34.6%減）となりました。

④新卒紹介事業

新卒紹介事業は、ご登録いただいた学生の方に最適な新卒採用案件をご紹介する登録型新卒紹介を運営しております。

当事業年度においては、前事業年度の採用実績を踏まえた案件を中心に獲得を進めたものの、成約件数の伸びは鈍化しました。

以上の結果、当事業年度における新卒紹介事業の売上高は136,900千円（前年同期比31.5%減）、事業別経常利益は△66,755千円（前年実績△41,654千円）となりました。なお、事業ポートフォリオの見直しの一環として、2026年９月末に事業を終了いたしました。

⑤ＩＴ派遣事業

ＩＴ派遣事業は、当社にご登録いただいた登録者の中から、求人企業の採用ニーズに最適な人材を派遣する一般労働者派遣を運営しております。なお、有期雇用派遣と無期雇用派遣に分かれて事業運営を行っております。

当事業年度においては、有期雇用派遣ではＩＴエンジニアの登録者の獲得を強化するとともに、新規顧客の案件開拓と派遣スタッフに対する求人案件の提案数の増加を図りました。また、派遣スタッフに対するフォロー体制を強化したことで、案件終了件数は抑制傾向にあることから、全体の稼働人数は増加したものの、増加ペースはやや鈍化して推移しました。

無期雇用派遣では、採用決定したエンジニアが順調に稼働しており、またエンジニアの中途採用については、早期の黒字化に向けてエンジニアの中途採用を当初より強化するとともに、エンジニアの退職率も抑制することに成功しました。引き続きエンジニアの採用を強化するとともに、求人案件の開拓を強化することで、稼働人数の増加を目指して参ります。

以上の結果、当事業年度におけるＩＴ派遣事業の売上高は9,286,478千円（前年同期比7.9%増）、事業別経常利益は338,194千円（前年同期比21.9%増）となりました。

（２） 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当事業年度末における流動資産の残高は6,064,109千円となり、前事業年度末に比べ411,174千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が535,226千円増加、売掛金が134,697千円減少、その他が9,576千円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当事業年度末における固定資産の残高は2,016,191千円となり、前事業年度末に比べ64,393千円減少いたしました。これは有形固定資産が32,147千円減少、無形固定資産が86,200千円減少、投資その他の資産が53,954千円増加したことによるものであります。

（流動負債）

当事業年度末における流動負債の残高は2,481,898千円となり、前事業年度末に比べ337,723千円減少いたしました。これは主に未払金が121,129千円減少、未払費用が12,719千円減少、契約負債が39,748千円減少、未払消費税等が112,545千円減少、未払法人税等が53,798千円減少、賞与引当金が4,399千円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当事業年度末における固定負債の残高は298,924千円となり、前事業年度末に比べ13,443千円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が15,644千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当事業年度末における純資産の残高は5,299,478千円となり、前事業年度末に比べ671,060千円増加いたしました。これは主にその他資本剰余金が31,227千円増加、繰越利益剰余金が608,706千円増加、自己株式が31,127千円減少したことによるものであります。

（３） 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ535,226千円増加し、4,370,349千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度の営業活動の結果得られた資金は、1,413,377千円（前年同期比617,973千円の収入減）でありました。これは、税引前当期純利益を1,602,806千円計上し、減価償却費が471,767千円、売上債権の増減額が120,035千円、未払金の増減額が△126,096千円、未払費用の増減額が△12,719千円、契約負債の増減額が△39,748千円、未払消費税等の増減額が△112,545千円、法人税等の支払額が567,277千円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度の投資活動の結果使用した資金は、352,624千円（前年同期比14,240千円の支出増）でありました。これは、有形固定資産の取得による支出が11,505千円、無形固定資産の取得による支出が341,118千円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度の財務活動の結果使用した資金は、525,526千円（前年同期比55,375千円の支出増）でありました。これは、配当金の支払額が525,526千円あったことによるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2025年９月期	2026年９月期
自己資本比率（%）	59.8	65.6
時価ベースの自己資本比率（%）	150.7	174.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	－	－
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	－	－

１．上記指標の算出方法は、以下のとおりであります。

ａ）自己資本比率　：　自己資本／総資産

ｂ）時価ベースの自己資本比率　：　株式時価総額／総資産

ｃ）キャッシュ・フロー対有利子負債比率　：　有利子負債／キャッシュ・フロー

ｄ）インタレスト・カバレッジ・レシオ　：　キャッシュ・フロー／利払い

２．株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

３．キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

４．有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

（４） 今後の見通し

今後におきましても、採用基準の高止まりなど求人企業における採用活動に対する慎重な姿勢が続くことにより、依然として先行き不透明な状況が続くと予想しております。

翌事業年度においては、当第４四半期におけるメディア情報事業の取引件数及び人材紹介事業における受注・成約状況から、第１四半期は減収減益となる見込みではあるものの、下半期はマーケットの回復に加え、人的資本の強化に取り組むことで、増収増益となる見込みです。なお、通期においては、増収減益を見込んでおります。

以上の結果、翌事業年度における業績につきましては、売上高は19,150,000千円、営業利益1,440,000千円、経常利益1,450,000千円、当期純利益986,000千円を目指して参ります。

また、2027年９月期を初年度とする３か年中期経営計画を公表いたしました。今後においても、引き続き事業への成長投資を強化することで収益力の改善、資本効率の向上に取り組み、企業価値の向上に努めてまいります。詳細については、本日公表の「中期経営計画の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

３．財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年９月30日）	当事業年度 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,935,123	4,470,349
売掛金	1,528,766	1,394,068
仕掛品	6,726	9,207
その他	188,434	198,010
貸倒引当金	△6,115	△7,527
流動資産合計	5,652,935	6,064,109
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	230,227	204,745
その他（純額）	23,755	17,090
有形固定資産合計	253,983	221,835
無形固定資産		
ソフトウエア	1,127,875	1,042,225
その他	11,198	10,648
無形固定資産合計	1,139,074	1,052,873
投資その他の資産		
繰延税金資産	268,159	317,806
敷金及び保証金	326,918	321,117
その他	92,548	105,121
貸倒引当金	△98	△2,562
投資その他の資産合計	687,527	741,482
固定資産合計	2,080,585	2,016,191
資産合計	7,733,520	8,080,301

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年９月30日）	当事業年度 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,999	2,211
未払金	529,339	408,210
未払費用	886,022	873,303
契約負債	404,116	364,368
未払消費税等	369,884	257,339
未払法人税等	340,311	286,513
賞与引当金	236,093	240,492
その他	50,853	49,458
流動負債合計	2,819,622	2,481,898
固定負債		
退職給付引当金	261,284	276,928
その他の引当金	4,071	1,806
資産除去債務	20,124	20,189
固定負債合計	285,480	298,924
負債合計	3,105,102	2,780,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,663	558,663
資本剰余金		
資本準備金	211,310	211,310
その他資本剰余金	16,865	48,093
資本剰余金合計	228,176	259,403
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,135,344	4,744,050
利益剰余金合計	4,135,344	4,744,050
自己株式	△293,765	△262,638
株主資本合計	4,628,417	5,299,478
純資産合計	4,628,417	5,299,478
負債純資産合計	7,733,520	8,080,301

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	18,646,255	18,744,342
売上原価	8,968,065	9,367,728
売上総利益	9,678,190	9,376,614
販売費及び一般管理費	8,095,384	7,790,038
営業利益	1,582,805	1,586,576
営業外収益		
受取利息	3,549	8,792
解約手数料	9,906	5,724
受取補償金	6,864	6,864
受取保険金	－	4,510
その他	2,053	831
営業外収益合計	22,374	26,721
営業外費用		
支払手数料	－	4,100
その他	858	2,218
営業外費用合計	858	6,318
経常利益	1,604,321	1,606,979
特別損失		
固定資産除却損	171	4,172
特別損失合計	171	4,172
税引前当期純利益	1,604,150	1,602,806
法人税、住民税及び事業税	532,629	517,588
法人税等調整額	△29,248	△49,646
法人税等合計	503,381	467,941
当期純利益	1,100,768	1,134,864

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	558,663	211,310	－	211,310	3,505,088	3,505,088	△335,610
当期変動額							
剰余金の配当					△470,512	△470,512	
当期純利益					1,100,768	1,100,768	
自己株式の取得							－
自己株式の処分			16,865	16,865			41,844
当期変動額合計	－	－	16,865	16,865	630,255	630,255	41,844
当期末残高	558,663	211,310	16,865	228,176	4,135,344	4,135,344	△293,765

	株主資本	純資産合計
	株主資本合計	
当期首残高	3,939,452	3,939,452
当期変動額		
剰余金の配当	△470,512	△470,512
当期純利益	1,100,768	1,100,768
自己株式の取得	－	－
自己株式の処分	58,710	58,710
当期変動額合計	688,965	688,965
当期末残高	4,628,417	4,628,417

当事業年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	558,663	211,310	16,865	228,176	4,135,344	4,135,344	△293,765
当期変動額							
剰余金の配当					△526,158	△526,158	
当期純利益					1,134,864	1,134,864	
自己株式の取得							－
自己株式の処分			31,227	31,227			31,127
当期変動額合計	－	－	31,227	31,227	608,706	608,706	31,127
当期末残高	558,663	211,310	48,093	259,403	4,744,050	4,744,050	△262,638

	株主資本	純資産合計
	株主資本合計	
当期首残高	4,628,417	4,628,417
当期変動額		
剰余金の配当	△526,158	△526,158
当期純利益	1,134,864	1,134,864
自己株式の取得	－	－
自己株式の処分	62,354	62,354
当期変動額合計	671,060	671,060
当期末残高	5,299,478	5,299,478

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当事業年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,604,150	1,602,806
減価償却費	511,558	471,767
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,460	13,610
賞与引当金の増減額（△は減少）	12,813	4,399
退職給付引当金の増減額（△は減少）	9,897	15,644
受取利息	△3,549	△8,792
固定資産除却損	171	4,172
売上債権の増減額（△は増加）	△169,733	120,035
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,323	△1,647
仕入債務の増減額（△は減少）	△3,556	△787
未払金の増減額（△は減少）	23,624	△126,096
未払費用の増減額（△は減少）	101,502	△12,719
契約負債の増減額（△は減少）	53,703	△39,748
未払消費税等の増減額（△は減少）	267,134	△112,545
その他	87,456	41,764
小計	2,500,957	1,971,862
利息及び配当金の受取額	3,549	8,792
法人税等の支払額	△473,156	△567,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,031,350	1,413,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△3,431	△11,505
無形固定資産の取得による支出	△334,953	△341,118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338,384	△352,624
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△470,151	△525,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△470,151	△525,526
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,222,815	535,226
現金及び現金同等物の期首残高	2,612,308	3,835,123
現金及び現金同等物の期末残高	3,835,123	4,370,349

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前事業年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

当社は、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

当社は、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

１．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

３．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

１．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

３．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

該当事項はありません。

当事業年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

該当事項はありません。

当事業年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

該当事項はありません。

当事業年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	879.66円	1,002.43円
１株当たり当期純利益	209.67円	215.00円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

２．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
当期純利益（千円）	1,100,768	1,134,864
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る当期純利益（千円）	1,100,768	1,134,864
普通株式の期中平均株式数（株）	5,250,056	5,278,325

（重要な後発事象）

該当事項はありません。